

# 視察・活動

■11月12日、「仙台赤十字病院の移転等を行わないよう宮城県知事に対し強く求める要望書」「仙台赤十字病院の現地存続を求める要望書」を提出しました。



■市政施行131周年記念式参加  
(10月27日)

■共に考えよう「子どもたちの多様な学びと不登校施策」シンポジウム参加  
(11月11日)

■震災直後から親を亡くし、傷ついた子どもの心に寄り添う活動を続いている仙台レインボーハウスを視察  
(11月13日)

■開業から5周年を迎えた仙台うみの杜水族館の事業状況、コロナ禍の影響、仙台市との連携など今後の課題の視察調査  
(12月12日)

■フードバンク仙台のコロナ禍における食糧支援の活動状況や課題などを意見聴取  
(12月21日)

■郡山折立線(鉤取工区)鉤取4丁目交差点に関する意見交換会  
(12月23日)

■中央卸売市場の花・水産・青果・関連事業者・食肉の業務開始式参加  
(令和3年1月4日～5日)



# スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report 2021年新春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245  
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

あなたの未来に笑顔と元気を！  
東日本大震災から10年となる2021年の幕が明けました。コロナ感染拡大は長期化しており、まだ収束が見えない状況です。今なお医療従事者ははじめ市民生活に欠かせない現場で従事して下さっている皆様に感謝申し上げます。

この度、昨年の第4回定例会等での議会質問や要望活動等のご報告として「さとう和子スマイル通信2021年新春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いでございます。コロナ感染対策の補正予算審議のため第1回臨時会(1月5日)が開会。一日も早い終息を祈り、ワクチン接種の万全な体制はじめコロナ感染対策、安心安全な市民生活、そして復興に全力で取り組んでまいります。

2021年1月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

## 不妊・不育症支援が大きく前進します！



- ◆不妊治療の助成が拡充！  
令和4年度には保険適用が実現へ！
- ◆不育症の検査費助成制度が創設！



晩婚化などで不妊に悩む男女が増え、5.5組に1組の夫婦が経験しているといわれる不妊治療。流産・死産を繰り返す不育症については患者数は約140万人に上ります。国において公明党が長年取り組んできた不妊・不育症支援が令和2年度第3次補正予算・令和3年度予算案に計上されました。私は平成24年3月予算等審査特別委員会において不育症支援を初めて取り上げて以来、少子化対策の大重要な取り組みであり、子どもを産みたい女性へ希望を届けたいとの思いで粘り強く何度も訴えてきました。昨年の第4回定例会の一般質問で「国の拡充を受けて、さらなる不育症の支援に力を入れていただきたい。不育症については検査費助成の制度設計にしっかり取り組んでいただき、国の後押しと同時に治療費については、仙台市独自に上乗せをして支援していただきたい」と発言。「国の助成制度に合わせ迅速に対応できるよう準備を進めてまいりたい。不育症については、国の制度に合わせ、速やかに対応してまいりたい」との答弁がありました。これからも不育症患者の希望の光となる支援に全力で取り組んでまいります。



12月25日、公明党仙台市議団は、第8次となる「新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する緊急要望書」を都市長に提出しました。感染第3波を受けての防止対策と医療体制強化、更なる経済支援については、感染防止対策奨励金の要件緩和し第2弾を検討することなど15項目を要望しました。



11月30日、「多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク」は都市長と佐々木教育長に、不登校の児童・生徒を持つ県内の保護者を対象に行なった「不登校4,000人アンケート報告書」と県内のフリースクール等の「みやぎ子ども居場所マップ」を届け、不登校対策の強化を求めました。公明党仙台市議団が同席させていただきました。